

G 8－BMENA構想「第9回未来のためのフォーラム」について

平成 24 年 7 月

外務省 中東第一課

1. BMENA概要

拡大中東・北アフリカ構想（BMENA : Broader Middle East and North Africa）「未来のためのフォーラム」は、2004 年の G 8 シーアイランド・サミットにおいて立ち上げにつき合意された。同構想においては、中東・北アフリカ諸国の政治、経済、社会の改革努力を支援するため、閣僚級会合やワークショップが行われ、G 8、BMENA 諸国、市民社会の代表等が一堂に会して、様々な問題を議論するユニークな場として、定着してきている。昨年 11 月にクウェートで開催された第 8 回閣僚級会合には、我が国より中野外務大臣政務官が出席した。（概要 HP）

2. 市民社会からの参加

（１）中東・北アフリカ地域における民主化に向けた一連の動きの中、市民団体の役割が益々重要となっており、政府と市民社会との対話や協力が一層求められる状況にある。他方、G 8 の市民団体等の参加は限定的であることも否めない。

（２）我が国から市民社会団体等が参加することの意義

ア 我が国の市民社会からの参加を得ることにより、欧米諸国の市民社会の視点のみならず、アジアの市民社会の声、意見も反映して BMENA 諸国の政治、経済、社会の改革努力を支援することが出来る。

イ BMENA には、中東、欧米の市民社会が幅広く参加するので、我が国市民社会にとって、これら海外の市民社会との交流・関係を深める機会となるメリットもある。

ウ そこで活動する各国の NGO との情報交換を通じ、中東北アフリカ諸国の現状を把握することができる。

3. 本年の予定

G 8 側の米国と BMENA 側のチュニジアが共同議長を務め、以下の閣僚級会合、準備会合及び 3 回のワークショップが予定されている（変更の可能性あり）。

ア 第1回ワークショップ「女性の権利」

(ア) 時期：7月11日—12日 → 延期（開催日程は未定）

(イ) 場所：ドーハ（カタール）

イ 第2回ワークショップ「表現の自由」

(ア) 時期：9月3日—4日

(イ) 場所：カサブランカ（モロッコ）

ウ 第3回ワークショップ「経済ガバナンスと機会」

(ア) 時期：10月1日—2日

(イ) 場所：アンマン（ヨルダン）

エ 「未来のためのフォーラム」準備会合

(ア) 時期：10月（細部未定）

(イ) 場所：ワシントン（米）

オ 「未来のためのフォーラム」閣僚級会合

(ア) 時期：12月12日—13日

(イ) 場所：チュニス（チュニジア）

4. 過去の「未来のためのフォーラム」

	時期	場所	取り上げられた内容等
第1回	2004年12月	モロッコ	「民主主義支援対話」「識字イニシアチブ」「起業家支援及びビジネス・トレーニング」「投資タスクフォース」
第2回	2005年11月	バーレーン	「教育改革」「非識字撲滅」「職業訓練」「起業家養成センター」「女性のエンパワーメント」「透明性と腐敗」「人権」「法の支配」
第3回	2006年12月	ヨルダン	「政治参加・選挙・メディア」「統治と法の支配」「女性と若者のエンパワーメント」「市民社会」「教育経済」
第4回	2007年12月	中止	中止

第5回	2008年10月	U A E	「表現の自由及び市民社会の法的環境を含む民主的改革の促進」「女性のエンパワーメント」「教育改革：若者と失業、職業訓練及び労働市場」「政府と市民社会団体含む民間部門との協力（環境及び再生エネルギー食糧危機、人道支援及び開発支援）」「フォーラムの回顧と評価」
第6回	2009年11月	モロッコ	「政治改革（地方ガバナンスと民主主義）」「経済改革（金融危機がB M E N A地域に与えた影響）」「社会改革（人間開発と社会問題）」
第7回	2011年1月	カタール	「紛争の平和的解決と民主的移行」「青年層による企業と市民活動」「企業の社会的責任」
第8回	2011年11月	クウェート	「男女均等」「経済改革と地域統合」「民主主義の確立」

※御質問、各ワークショップ等への参加御表明に関しては、外務省中東アフリカ局中東第一課 笠井(内線 5230)までお願い致します。

(了)